



一般質問

清水友行議員

産業建設関連の振興（再生）について

質問 今後の見通しと施策、支援策についての所見を伺う。

答弁 国の第1次補正予算である地域活性化・経済危機対策臨時交付金の第1次実施計画として交付限度額4億9,890万5千円のうち2億4,981万7千円を補正し現在発注業務を行っている。なお交付限度の残額2億4,908万8千円については、今後決定される国の内示を受け、また学校施設耐震化大規模改修事業の公共投資臨時交付金額が決定したら早急にとりまとめ発注したいと考えている。補正においては、交付金の趣旨を尊重し入札残等も見込み交付限度額を上回る事業量で、第2次実施計画として県、国に提出したいと考えている。臨時交付金は単年度の国の事業（学校の耐震化は繰越明許となる）であり、平成22年度以降は大変厳しいものになると考えている。市として

ては、中小建設関連事業者に対して、農業を含めた各種産業についても大規模なものよりも、中小規模の事業を増やすことにより、市内の幅広い業種への発注が可能となるよう予算編成に努めていく。

農業政策について

質問 各種助成について伺う。

答弁 堆肥助成は、平成20年度で事業期間が終了したが、資源循環型農業の推進及び農家の経費軽減のため事業期間を平成25年まで5年間延長したところである。今後助成の上乗せより、長期的な視野に立ち堆肥の散布経費や運送経費の軽減を図るため、堆肥を利用した堆肥兼元肥のペレット化を検討したいと考えている。農業設備投資時の利子助成については、国県制度を利用していただき今後、国県の制度の周知を図っていきたいと考えている。市の単独支援は財政的に厳しいことから難しいと考えている。

その他の質問

土地基盤整備の推進について

倉島良司議員

葬斎場の工事

質問 阿賀北広域組合議会である議論があったことと思うが、老朽化が激しく、建て替えが迫られている葬斎場の新築問題は、場所も含めてどのように進んでいるのか伺う。

答弁 今年度は初年度として、基本計画及び基本設計を策定中。まず建設予定地は、現施設の隣接地を予定地とし、建物敷地の他駐車場（マイクログラス5台、普通乗用車等30台）、庭園、広場、調整池など、概ね1万㎡としている。施設の規模として、火葬炉5基、告別室2室、収骨室2室、待合室5室のほか、エントランスホール他1,700㎡、概算事業費15、16億円を見込む。

質問 完成時期はいつ頃かを伺う。
答弁 平成24年度までに本体を完成し、遅くとも25年度供用開始したい。

福住つゆ子議員

談合情報があったか

一、入札不正防止の内部けん制について

質問 入札は公平で正しく行われているか？内部けん制を図ることは民主主義の要諦である。

当市では「請負工事等指名委員会」が設置され、不正防止の内部けん制の役割を担っている。最近の委員会活動の中で、笹岡小学校・中学校の耐震診断・補強・改造等の設計業務委託に談合の疑いがあるという情報の調査はどうか、90%以上という高い落札率で特定の業者に落札された事実はないか。「火のない所に煙は立たない」ほんの少しの疑惑があってもそれは市にとって不名誉なこと調査すべきと考えるが、いかがか
答弁 市の契約する建設工事等については公正な指名をし適正な施行

稲毛 明議員

河川改修工事

質問 大雨のたびに洪水が住民の間で心配されている安野川上流部の改修予定について伺う。
答弁 河川整備の基本的な考え方からして、中流部をそのままにして上流部の改修計画を進めることは難しい。

しかし、上流部においては護岸の損傷が発生しており、市としても護岸損傷の状況をその都度河川の管理者である県に連絡し、現地の状況を確認してもらいながら、順次補修事業等で実施するよう引き続き強く要望していきたい。

質問 畑江地区住民から、草木が繁り洪水が心配との声が出ている。大荒川の浚渫についての対策を伺う。
答弁 ご指摘の箇所は国道290号、塞の河原橋の上下流で、土砂の堆積や雑木等の繁茂により、河川断面が狭められている箇所であ

行を行っているが「公益通報に関する事務処理要綱」が設置されており入札に関する通報があった場合適正に処理することになっていくので調査することを約束する。又、今まで以上に不正防止に心がけていきたいと考えている。



村上清彦議員

住民参画のまちづくりについて

質問 各地で自主的に「まちを良くしていく」ために何か行動しよう」といった動きが出てきているが、行政はこのような動きをサポートして地域活性化につなげていくのかを伺う。

答弁 活動している方々のお話を聞きながら、関係部署で連携を取り、どのような形でのサポートが可能か検討し、できる限り支援していきたい。
質問 市内の各協会・団体が集まって、まちづくりについて話し合う場を設けてはどうか。様々な人たちが集まって様々な角度から意見交換すること自体、大変有意義な会になると考えるが見解を伺う。
答弁 まちづくり団体が意見交換を行い、連携を取っていく事は、協働のまちづくりの推進にもつな

がるものと考えているので、市としても関わっていききたい。その他、まちづくりの考え方や住民の主体性を培う取組み市民による瓢湖エリア整備の検討について質問した。

教育関係について

質問 持続発展教育を学校現場へ普及・推進するための有効な手段の一つとして、日本ユネスコ委員会はユネスコ・スクールの活用を挙げている。このような取り組みについて当市の見解を伺う。

答弁 持続発展教育の理念は、極めて広範囲の教科・領域に関わるもので、妥当性もあり、大切なものと考えている。どう取り組むかは学校の裁量となるが、ユネスコ・スクールの活動など学校の意欲的な取り組みに対しては、教育委員会としても応援していきたい。その他、薬物乱用防止教育について質問した。

風間輝栄議員

水原郷病院の公設民営化について

質問 3月議会で病院予算が否決されて以降、職員の給与削減問題をはじめ民営化の時期など大混乱をまねき9月議会定例会が第10回という異常事態となった。その責任はどこにあり、誰がどのような責任をとるつもりかを伺う。
答弁 病院職員の給与削減を巡る労使合意がまとまらず、21年度の病院事業会計予算が8月までの間、2回にわたって暫定予算を編成せざるを得ない事態になったことは大変遺憾なことであると認識している。

このような事態を招いた原因は、病院組合と病院当局の間で、意見・見解の対立があり、民営化の時期や民営後の労働条件が示されないことによる組合員の雇用不安、反発などがある。

21年度も人件費を削減しなければ

は病院経営が危機的な状況を迎える中、組合は、民営化の時期や民営化後の労働条件が示されていないことを理由に交渉を拒否していたが、8月28日ようやく、給与削減を巡る労使交渉が妥結し、来年3月までの通年予算を編成することができた。

議員各位からも格別のご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。今後は早期民営化に向けて、説明、情報提供を積極的に行いたいと考えています。

再質問

市長がこれまでの間しっかりと判断できず、当初から給与削減の合意を得られなかったことが、赤字補填が更に5千万円余りも増額させてしまった。その責任の所在について聞いていますが、答弁がないことを伺う。

答弁 赤字補填が増えてしまったことは遺憾であり、これまで混乱を招き結果的に迷惑をかけてしまった。力不足を反省している。